

DKNリサーチニュースレター

#2011、2020年4月26日（日本語版）
（エレクトロニクス実装の最新海外情報）

今週の話題

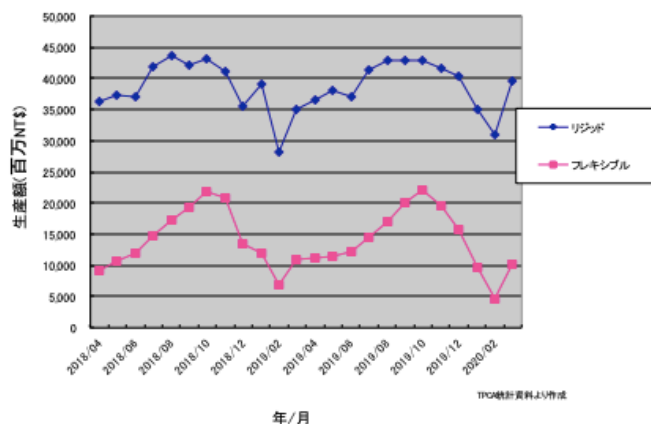
台湾の新型コロナウイルス感染対策

新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっています。もっとも感染の深刻な米国での感染者は100万人に近づいており、死者の数は5万人に迫っています。日本ではほとんど報道されていませんので、あまり知られていないかと思いますが、拙宅があるマサチューセッツ州では、この2、3週間で急激に感染が広がり、感染者数では、ニューヨーク州、ニュージャージー州に次いで3位となっています。州内の感染者は、5万人を越え、死者は2700人に達しています。このため、州政府は非常事態宣言を出し、ほとんどの会社は企業活動を停止しています。生活のために必要な食料品店やドラッグストアは営業を続けていますが、客の入場を大きく制限しているようです。今のところ、感染が収束する目処はほとんど見えておらず、市民のフラストレーションはたまる一方です。

一方で、感染の広がりをほぼ封じ込めたと思われる国があります。日本の隣国台湾です。台湾での感染者数は約400人で、死者は6人だけです。（情報ソースにより若干の違いがあります。）もう、1ヶ月以上新規の感染者はでていないとのこと。市民の生活環境は、ほぼ平常通りで、多くの会社は通常の業務を続けているとのこと。ただ、海外への渡航はかなり厳しく規制されていて、海外からの入国はほぼできない状況のようです。

そのような環境の中で、3月の台湾プリント基板産業は大きく反発しています。

台湾プリント配線板生産額
(台湾の上場メーカー)



昨年の台湾プリント基板業界は不振が続いていました。通期では、かろうじてプラス成長を果たしたものの、第4四半期の10月をピークとして、毎月大幅下

落を続けてきました。2月には、旧正月休暇の季節要因もあって、出荷額は底に達しました。ただ、新型コロナウイルス感染の影響は、それほど出ていないようにみえます。そして3月になると大きく反発することになりました。

通常でも、3月は旧正月休暇の後になるので、プリント基板の生産は大きく上昇します。しかしながら、今年の反発は、季節要因からくるレベルを大幅に上回っています。3月の出荷額を、前年同月比で比べてみると、やく12.5%の増加です。これは、硬質基板でも、フレキシブル基板でも大きな差はありません。ただし、前月比では、硬質基板が27.2%の増加であるのに対して、フレキシブル基板は162.7%の増加という、けたたましい数値になっています。これは、フレキシブル基板メーカー最大手のZD Technology社が、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中国での生産を一斉に休止したものの、3月には生産を復活させたことが大きく影響しているものと考えられます。同社の2月の出荷額は、ピーク時に比べて5分の1近くまで下落し、台湾の基板メーカーとして、4位まで順位を落としましたが、3月にはトップに返り咲いています。

台湾のプリント基板業界の動きでもうひとつ気になることがあります。3月になって、銅張積層板などの原材料の調達量が増えていることです。また、設備投資の額も増えています。台湾の部材メーカーは、エンドユーザーとのコミュニケーションが非常によく、常に確度の高い需要予測を持っているといわれます。さて、今年の場合はどのような方向に動いていくのか、しばらくはマーケットの動きから目が離せません。

DKNリサーチ、沼倉研史（マネージング・ディレクター）
(dnumakura@dknresearch.com) Haverhill, Massachusetts, U. S. A.

ニュースレターのバックナンバーは次のURLで見ることができます。
<http://www.dknresearch.com>

今週のヘッドライン 2020年4月26日

1. Taiwan Pucka（台湾のフレキシブル基板メーカー）4/12
耐熱性の高い伸縮性のフレキシブル基板を開発。シリコーンゴムのサブストレートの上に、シリコーンゴムベースの導電性インクで回路を描く。
2. IDTechEX（英国の市場調査会社）4/14
世界の伸縮性回路の需要は、2027年までには、6億ドルの市場に成長すると予測。
3. DIGITIMES（台湾の業界メディア）4/14
中国のLEDメーカーは、新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年第1四半期の利益率が大幅に下落することを予測。

4. DIGITIMES (台湾の業界メディア) 4 / 14
台湾の半導体チップ設計会社によれば、スマートフォンの需要は回復に至っておらず、第2四半期の半導体需要は低迷が続くと予測。
5. Foxconn (台湾のEMS最大手) 4 / 14
中国のZhengzhou工場で、iPhoneの生産を再開。従業員は工場に入る前に体温を測るなど、健康管理を厳しくチェック。
6. Apple (米国のエレクトロニクス大手) 4 / 14
2020年3月における、中国でのiPhoneの出荷は、250万台で、回復の兆し。
7. Plasma Etch (米国の装置メーカー) 4 / 16
多層基板のデスマリングなどのクリーニングを、CF4ガスを使わずにエッチングできる、新しい装置MK-IIを発表。
8. Goldman Sacks (米国の金融大手) 4 / 16
新型コロナウイルスの感染拡大のため、第2四半期のアップル社のiPhoneの出荷は36%の減少を予測。株価は1.5%の下落。
9. IDC (米国の市場調査会社) 4 / 17
2020年における世界の通信サービス市場は、新型コロナウイルス感染拡大のため、前年とほぼ同じ16億ドルに留まると予測。
10. New Yorker Electronics (米国の部品メーカー) 4 / 17
新型コロナウイルス感染拡大に伴う、自宅勤務を容易にするコネクタシリーズRj45をリリース。
11. Aurora Circuits (米国の基板メーカー) 4 / 17
新型コロナウイルス感染拡大に対応するために、人工呼吸器用のプリント基板を無料で(配送費は別)で供給することを開始。
12. Orbotech (イスラエルの装置メーカー) 4 / 17
高密度多層基板のソルダマスクの微細パターンを形成するために、ダイレクトイメージングとダイレクトインクジェットプロセスを開発。
13. IDC (米国の市場調査会社) 4 / 20
2020年第1四半期における、世界のパーソナルコンピュータの出荷は、前年同期比9.8%減少の5320万台。

(注) このヘッドライン・ニュース・レターは速報性を重視するために、若干の

誤訳や数字の変換に誤りがある場合もございます。ご了承下さい。

DKNリサーチ
栄泰産業株式会社

DKNリサーチのイベントスケジュール

* 12月6日、技術セミナー「フレキシブルエレクトロニクス最前線～・材料・加工・生産技術と市場動向～」、サイエンス&テクノロジー主催、東京大井町きゅりあん、<https://www.science-t.com/seminar/B191206.html>

* 2020年1月20～21日、「ウェアラブルデバイスの印刷形成と材料に求められる課題」、最近の化学工学講習会、化学工学会関東支部主催、東京、早稲田大学55号館

※すでに終了したセミナーや講演であっても、使われたテキストはデジタルデータで利用可能になっていますので、ご希望があればご連絡ください。

最近のDKNリサーチの論文、出版物

* 「デザイン革命、見せる魅せる透明フレキシブル基板」沼倉研史、JPCA NEWS, NO. 591, 2017年12月

* 「ウェアラブル時代に向けての新しい加工技術」沼倉研史、コンバーテック、2018年6月号、加工技術研究会

* 「耐熱性透明フレキシブル基板の材料と加工技術」沼倉研史／溝口昌範、エレクトロニクス実装技術、2018年6月号、

下記URLを開けてみてください。最近のものの一覧をみることもできます。コピーライトの問題がないものは全文を閲覧することもできます。

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Newsletter/Newsletter.html>

<http://www.dknresearchllc.com/DKNRArchive/Articles/Articles.html>